

伊達市 0邸  
 エ 法：木造在来工法  
 標準工期：120日  
 プラン：フリープラン

写真©GINO PHOTO WORKS

珪藻土壁のリビングと土佐和紙貼りの和室。



ドイツボス社の自然健康塗料で仕上げた木製断熱ドア



ステンレス天板とアカマツ材の巾はぎ板でつくったオリジナルキッチン。



天井と壁をヒバの羽目板で仕上げた木の香りいっぱいのハーフユニットバス



道南スギをカナダ製の自然塗料でアンティーク風に仕上げた外観。

畑の中の大屋根の家



屋根断熱を活かした道産トドマツ貼り吹抜け天井のリビングダイニング。



2階フリースペースはバルコニーへとつながる家事室。

有限会社 BioPlus 西條デザイン

本社：〒002-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1  
 Tel.011-774-8599 Fax.011-774-8581

伊達支店：〒052-0014 伊達市舟岡町50-28  
 Tel.0142-22-0138 Fax.0142-22-0139  
 www.saijo-d.com

◎「ECOさんが帰る場所」連載中(P00~P00)

製作家具や建具は無垢の板を自然塗料で仕上げ、天井や壁に使用した壁紙は天然素材の機械漉き土佐和紙。フローリングは床暖房が不要なほど暖かく、肌触りのやさしい道産トドマツを使用した。  
 裏話を一つ…自然素材にこだわり、壁紙の下地処理として自然塗料メーカーのパテ材を使用した為、白色の為、今回チョイスした土佐和紙ではパテ材が透けて見えてしまったので同和紙を重ね張りして事なきを得た。通常ビニルクロス等の壁紙を貼り変える場合は全て剥さなければいけないが、和紙の場合は重ね張りが出る為、ゴミも出さずに和紙の持つ特性も効果的に発揮できる。思わぬ誤りではあったが、結果として調湿性能も上がりより快適な空間となった。  
 「木・土・草」を使った自然素材たっぷりの仕上げと、ライフスタイルを考慮したシンプルな設計に時間を費やした分だけ、居心地のいい愛着のある住まいとして完成することができた。

住宅地の大きな畑の中で、切り妻の大屋根の家で暮らしたい…近所のご実家へのアクセスや子育て後の夫婦二人での生活を考えたプラン作りから始まり、北海道での生活が初めての奥様が理想とする自然素材を活かした住まいを夢に描いた。  
 外壁はアンティーク風に仕上がる、カナダ製の自然塗料を塗った道南スギ板を張り、布団を干す為のバルコニーも同板を使い自然塗料で仕上げた。断熱材は古紙を回収し再生させたセルロースファイバーを使用。タイル貼りの玄関床は長靴での出入りが多くなる事を考え、急な来客があってもサッと仕舞えるようにクロゼットの中まで延長した。玄関を上がり、ご主人の書斎やリビングへと向かう廊下は、粘土質珪藻土の壁階段室と和室へのアクセスも併せ持つ広い廊下を抜けるとチヨツと狭目のリビングダイニングがお出迎え。屋根断熱を活かした道産トドマツ貼りの吹抜け天井が、狭い空間の解放感を演出。奥様こだわりのオリジナルキッチンに水周り、勝手口兼用の食品庫を集めた配置が家事を手助けしてくれる。洗面所も使い勝手を考慮しオリジナルカウンターや収納棚を設置した。お風呂掃除担当のご主人のこだわりは掃除のしやすさ。ハーフユニットの天井と壁を、ヒバの羽目板で仕上げた木の香りいっぱいのお風呂とする事で、天井壁は掃除が不要となり、汗だくになりながらの作業から無事解放されることになった。2階にはフリースペースを介して寝室と子ども部屋を設けた。洗濯物干しと、アイロン掛けの為にフリースペースは各部屋への衣類の収納を容易にした。